

退院後の創の管理について

キズに使っている・貼っているもの

PICO[◇] 7
(ピコ セブン)

貼っているキズの場所



次回の受診日、先生のお名前

病院に連絡してほしい状態

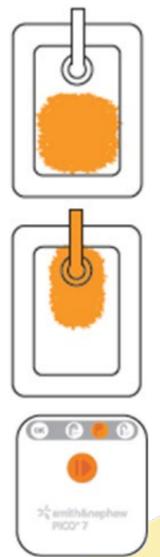
【PICO 本体】

- PICO 本体が動かなくなってしまった場合
 - ・ OKマークが点滅していない
 - ・ 電池を交換しても再稼働しない
- PICO 本体が壊れてしまった場合
 - ・ 落として器械が割れてしまった
 - ・ 水の中に落としてしまった など
- 空気もれマークのライトが点滅した場合
- 電池交換マークのライトが点滅して、電池を交換したがライトが消えない場合



【ドレッシング】

- ドレッシングが剥がれてしまった場合
- ドレッシングの縁までキズからの液がしみ出てきた場合
- ドレッシングと器械をつないでいるところまでキズからの液がしみ出てきた場合
- PICO 本体のドレッシング交換マークのライトが点滅した場合



【患者様の状態】

- キズの部分に熱を感じる
- 痛みが退院するときよりも強くなった
- 発熱がある
- ドレッシングが赤くしみてきた
- においがする(悪臭がする)

空気もれライト ドレッシング交換ライト 電池切れライト



オレンジボタン(治療開始/治療停止のボタン)

連絡先

通院でPICO (ピコ) をお使いいただいている患者さまへ
ご自宅での過ごし方については裏面をご覧ください

通院でPICO[◇]（ピコ）をお使いいただいている患者さまへ ご自宅での過ごし方

作動確認をしましょう

OKマークが緑に点滅しているか、ご確認ください。
正常作動時は、**OKマークが緑に点滅**しています。

緑に点滅



※ 器械の向きは逆さにしても問題ありません。

定期的に生じる振動は異常ではありません

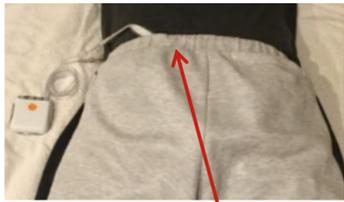
PICOは治療に必要な陰圧をかける時に、器械が作動して吸引します。定期的に吸引動作を行いますので、この時に振動します。



チューブを出す位置に気をつけましょう

おしりや体幹にキズがある場合

足にキズがある場合



腰側から出すとトイレや着替えの時など不便が少ないです。



ズボンの裾側から出すとトイレや着替えの時など不便が少ないです。

※ 外出時には目立たないように腰側から出すことも考慮

磁力の影響を受ける器械の近くに置かないようにしましょう

PICOは磁石を内蔵しています。磁力の影響を受ける機器からPICOを**10cm以上離**してください。

磁力の影響を受ける機器

ペースメーカーや、除細動器、人工内耳等の埋め込み型装置、インスリンポンプ等の生命維持管理装置



お風呂について



【注意点】

※ PICOを使用している間は浴槽につかることはできません。シャワーのみでお願いします。

- 長時間のシャワーは避けてください
- PICO本体は浴室に持ち込まないでください
- 創部を浴槽につけることはできません

【シャワーの入り方】

- ① オレンジボタンを押し、陰圧を止める。
- ② コネクター部分をねじり、PICO本体からドレッシングにつながっている接続チューブを外す。
- ③ 外した接続チューブの端は、チューブに水が入らないように、下向きにする。

※ PICO本体を外した際は、水が入らないように、接続チューブの端をラップなどで包んでください。また、ドレッシングも水浸しにならないようにラップなどで一時的に保護してください。



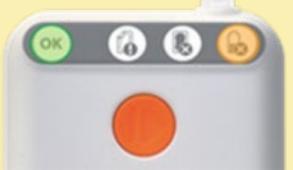
- ④ シャワーから出た時、ドレッシングが濡れている場合は、乾いたタオルなどで水気を拭く。PICO本体と接続チューブのコネクターをつなぎ、オレンジボタンを押しして陰圧を再開する。

ライトの点滅確認と連絡先

空気もれライト

ドレッシング交換ライト

電池切れライト



オレンジボタン(治療開始/治療停止のボタン)

ライトが点滅した場合、裏面の『病院に連絡してほしい状態』を確認して、下記へ連絡をください

連絡先

〇〇病院 〇〇外来
電話番号